

普及活動情勢報告（平成 27 年 8 月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

環境制御技術の普及・推進・・・JA 高知はたの各生産部会等でPR中・・・



7～8 月にかけて JA 高知はた各部会（キュウリ、ピーマン、ニラ、ミディトマト等）及び黒潮町認定農業者連絡協議会総会等で、環境制御技術加速化事業の推進と環境制御技術の必要性や県内の各品目の平成 27 年度グループ実証成果等について説明をしました。

炭酸ガス発生装置については、すぐに導入したい方はいませんが、環境測定装置については、新たに 5 名程度の方が導入を検討しています。

農業改良普及課は、今後も引き続き各生産部会において、環境制御技術加速化事業と併せて環境制御技術の普及を推進していきます。

集落営農組織間での技術伝達・・・(農) 入田村がブロッコリー播種作業を視察・・・



7 月 28 日、(農) 入田村 5 名は山路営農組合のブロッコリー播種作業を視察研修しました。

(農) 入田村では今年から新たにブロッコリーを栽培する計画を立てており、農業改良普及課は技術および組織活動の支援を行っています。研修では、山路営農組合から播種作業の流れや使う道具、育苗管理について説明していただき、作業の段取りを確認できました。また、意見交換が活発に行われました。

農業改良普及課では、今後も産地育成と集落営農の発展を支援していきます。

進めよう集落営農！・・・四万十市集落営農研究会の開催・・・



7 月 23 日に四万十市役所において、四万十市集落営農研究会が開催されました。研究会には 4 地区から 9 名が参加し、今年度の活動計画の説明後、集落が抱える課題や問題点や課題解決に向けた具体的な対策について、KJ 法を活用してワークショップを行いました。

農業改良普及課はコーディネートを務め、参加農家からの意見の引き出しやグループ分けなどを行い、参加農家への「気づき」を促しました。

今後は、研究会から集落での座談会に繋がるよう、関係機関と連携した取り組みを行っていきます。

今後の活動に向けて・・・宿毛 4H クラブ定例会の開催・・・



8 月 3 日、宿毛市役所において、宿毛 4H クラブは定例会を開催しました。10 名が参加した定例会では、共同ほ場の作業日程の確認や小学校への出前授業の内容の打ち合わせを行いました。

農業改良普及課からは、小学校の 1 日参観日での出前授業や給食への野菜販売、地域との交流会など新たな活動の提案を行いました。その結果、来年度から取り組むこととなりました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携し、4H クラブの活動を支援していきます。

炭酸ガス施用でキュウリ増収・・・幡多地区キュウリ研修会の開催・・・



7月23日に黒潮町ふるさと総合センターにおいて幡多地区全域の農家を対象にキュウリ研修会を行いました。農家の参加者は51名でした。

研修会では、農協から品種試験結果報告及び種苗会社（3社）から品種紹介、育苗会社（3社）から苗の展示がありました。農業改良普及課は、炭酸ガス施用試験結果と次年度の計画を報告しました。

参加者からは、「品種選定の参考になった」、「炭酸ガス施用を行っても土づくりが大切という発表が良かった」といった声が聞かれ、活発な情報交換を行いました。

農業改良普及課では、今後もキュウリ増収に向けて炭酸ガス施用試験、品種試験や勉強会などを行います。

イチゴ「おおきみ」栽培の取り組み・・・おおきみ部会現地検討会の開催・・・



8月12日にJA高知はた中村支所「おおきみ部会」は育苗現地検討会を開催しました。昨年度に部会を発足させ、会員は9名ですが、今年度より本格的に栽培技術の周知・向上を図るため、定期的に現地検討会や目慣らし会を行うこととしています。

「おおきみ」の魅力は、何ととっても高級志向品として高単価が期待されるのですが、半面、収量が少ない、ランナーの出が遅いなどの欠点もあります。

農業改良普及課では、部会員と共に品種特性の把握・共有に努め、安定生産に繋がるように支援していきます。